

浜高まるごと美術館

校長 西藤昌裕

2学期終業式の校長講話で生徒諸君に質問をしました。「浜高にはどれぐらいの絵画が展示されているかわかりますか。但し記念館は除きます。因みに校長室に展示されている絵画の枚数は（清掃を担当する1年生が解答してくれました）12です。」みんな熟考している様子、「正解は50です。」と伝えると一様に驚いていました。

浜高は、前身の島根県第二尋常中学校が設置された明治26（1893）年より数え、今年で創立125年を迎えます。創立110周年を記念して発刊された『島根県立浜田高等学校所蔵作品集』には、文化勲章受章者橋本明治画伯をはじめとする本校卒業生、並びに本校で教鞭をとられた先生方の絵画・彫刻・工芸・書道作品が掲載されています。現在は、この作品集に掲載された作品、発刊以降に本校に寄贈された作品、そして全国高校総合文化祭等に出展した生徒作品が、校長室、会議室、図書館、記念館、及び各棟各階廊下に展示されています。

本校を訪問される方々は、これらの絵画をご覧になって「浜高はまるで美術館のようですね」と口にされます。また、多くの大学・企業関係の方々が、「このような環境で学ぶ生徒の皆さんはとても幸せですね」と仰います。普段の学校生活のなかで、このような素晴らしい作品群を目にすることができることの喜びを改めて感じています。そして、無限の可能性を秘めた生徒諸君が、偉大な先人に続くべく精励して国内外で活躍することを、浜高が数多の芸術家を今後も輩出できるような学校となることを願っています。

今日もまた、橋本明治画伯、石本正画伯描くところの二人の絶世の美女に囲まれて、私は校長室で静かに執務をしています。先輩校長先生方もきっとそうお思いであったように、「浜高まるごと美術館」の理想が現実のものになること、そして文化・芸術においても浜高が全国に誇れる学校であり続けることを、私は夢見ています。

（浜高だより第80号原稿を加筆修正 平成29年2月記）

